記 者 発 表 資 料

令和３年１１月　４日
秋田河川国道事務所

「国内初! ICT活用の最先端舗装」

～建設機械搭載型レーザスキャナによるICT舗装現場見学会の開催～

これまでのICT活用工事は、**地上型レーザスキャナを用いた施工管理が一般的**でしたが、建設現場の生産性を飛躍的に向上させる新技術の導入として、**建設機械搭載型レーザスキャナによる舗装工の施工管理を"国内初の取り組み"**として試行的に実施します。

今回、本技術の実用化に向けた効果を検証するとともに、ICT活用工事の更なる普及拡大を目的とした現場見学会を開催することとなりましたのでお知らせします。

※ICT：Information and Communication Technology＝情報通信技術

１．開催日時

令和３年**１１月１１日（木）　14:00～15:30**

※雨天の場合１１月１６日（火）に延期

２．開催場所

国道１３号 河辺拡幅改築事業 現場内（別紙1のとおり）

３．開催概要

別紙2のとおり

4．主催

国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所、前田道路(株)東北支店

5．取材申込

別紙様式により事前に申込をお願いします。

（11月9日（火）12:00まで）

なお、小雨決行の予定ですが、天候により中止する場合があります。

＜発表記者会：秋田県政記者会＞

【問い合わせ先】

①現場見学会について

国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所　TEL：018-823-4167

事業対策官　小笠原由次（内線：208）

工務第二課長　佐々木博臣（内線：411）

②ICT舗装施工について

前田道路(株) 河辺地区道路改良舗装工事 現場事務所　TEL：018-838-7266

監理技術者　中田　智

別　紙

国土交通省　東北地方整備局
秋田河川国道事務所　計画課　宛
（FAX　０１８－８６４－５５９９）

建設機械搭載型レーザスキャナによる「ICT舗装現場見学会」　取材申込書

当日の現場管理及び駐車場確保の関係から、取材を希望される場合は事前に申込をお願いします。

締め切り日は、令和３年１１月９日（火）１２：００です。

会社名・部署名
取材者（役職・氏名・連絡先）
①（代表者）
②
③
連絡先（代表者の連絡先）

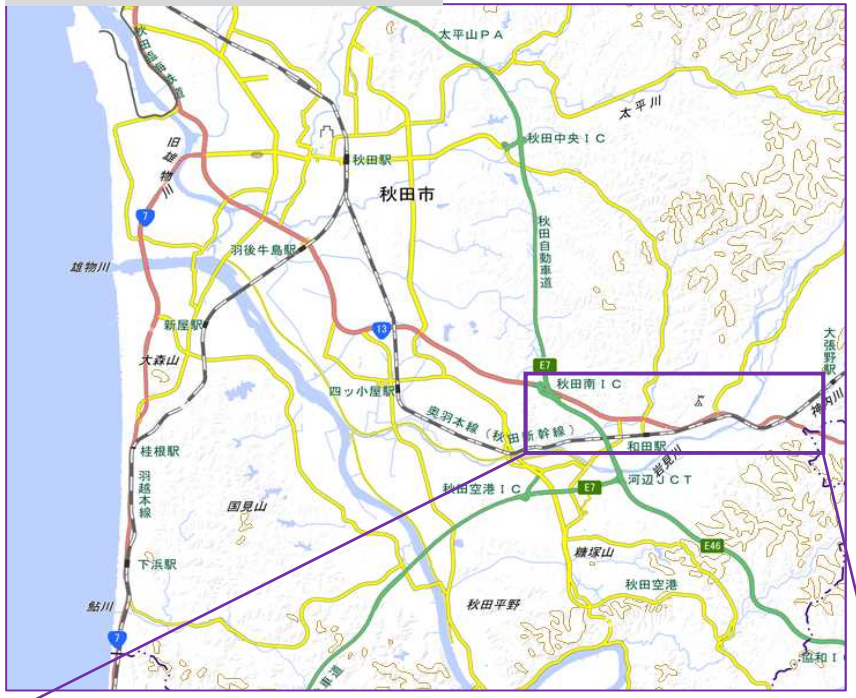
※建設現場ですので、ヘルメット・長靴をご持参下さい。
　ヘルメットがない場合は貸出いたします。
※取材される場合は、新型コロナウイルス感染防止対策として、次の対応をお願いします。
　・当日、発熱や体調の優れない方はご遠慮願います。
　・取材の際は、マスクの着用、手洗い、消毒等の徹底をお願いします。
　・取材は出来る限り少人数でお願いします。
※現場への出入り等については、現場誘導員の指示に従って下さい。

○集合場所
　別紙１により、１３：５０までに集合して下さい。

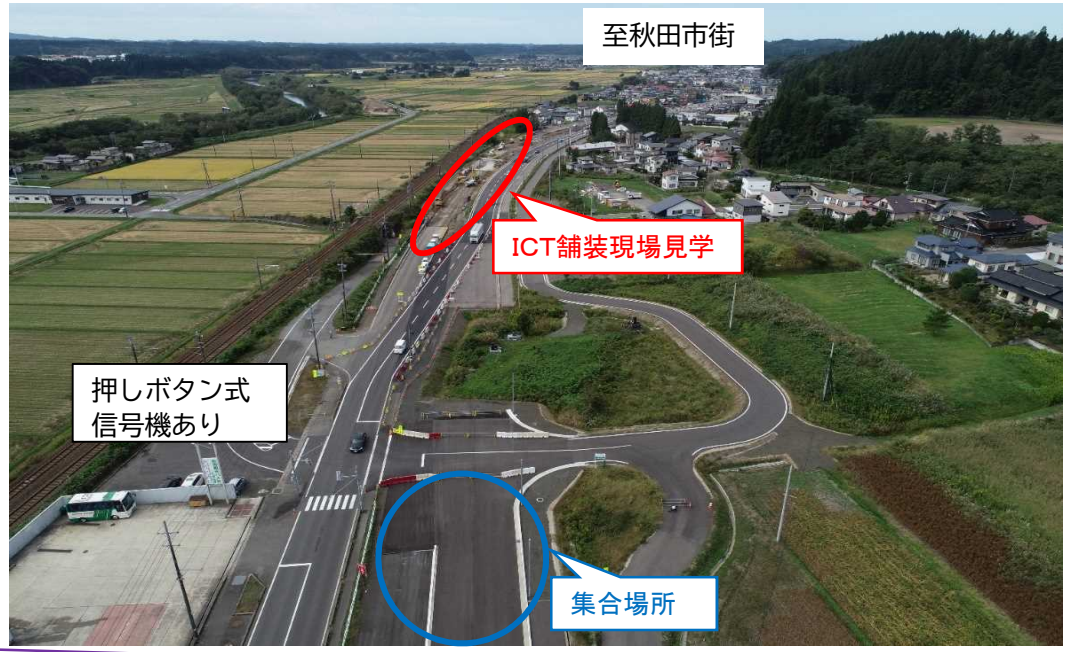
ICT舗装現場見学会　開催場所

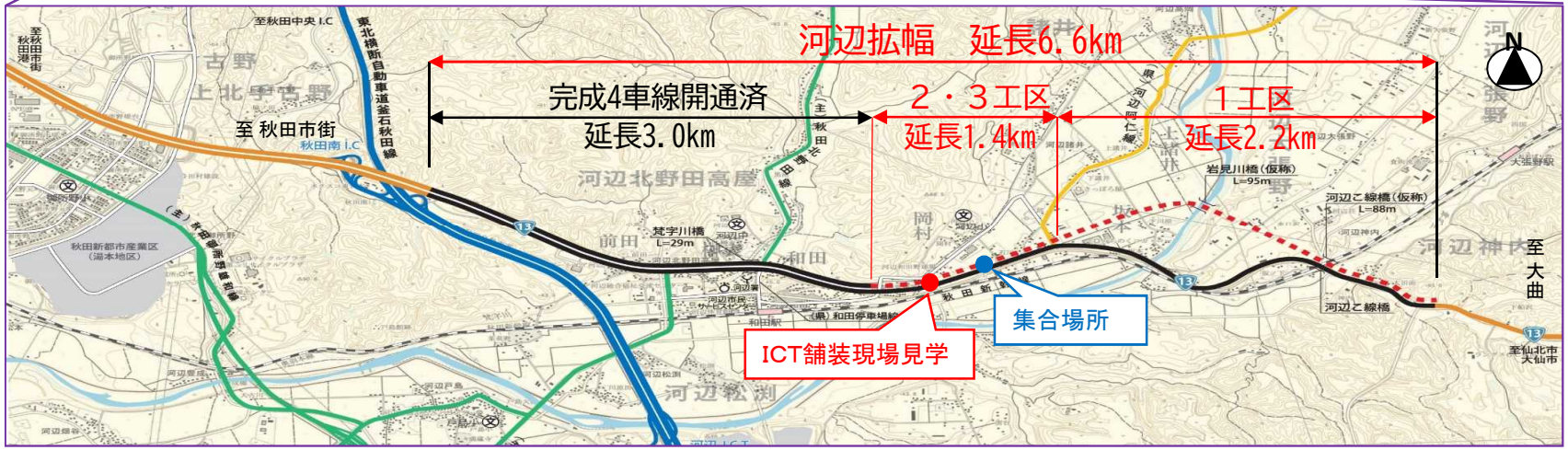
別紙１

位置図



集合場所・現場見学場所





別紙２

Ｉ Ｃ Ｔ舗装現場見学会概要

秋田河川国道事務所は、ICT-Full 活用工事の実施や地域の取組をサポートする**「i-Construction サポート事務所」**です。

■開催概要

開催月日　令和３年１１月１１日（木）〔予備日：１１月１６日（火）〕
開催場所　国道１３号 河辺拡幅改築事業 現場内
見学時間　**午後 2 時～午後 3 時 30 分**
対象者：一般社団法人秋田県建設業協会
秋田県、県内市町村職員

■見学会内容と時間割

１．挨　拶・・・

ICT活用による本技術の導入効果～建設現場の生産性が飛躍的に向上～

建設現場におけるICT活用の促進

《従来方法》



手作業による幅員・高さ・厚さ等の出来形管理

《ICT活用》



地上型レーザスキャナによる出来形管理

建設機械搭載型レーザスキャナによる出来形管理

施工しながら
“出来形管理”が可能

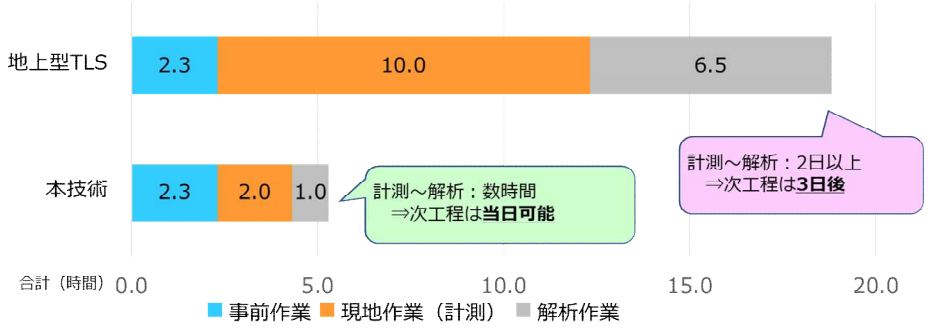






ICT活用効果：生産性向上『作業時間の短縮』

(1) ICT舗装工の面管理による出来形管理における現地作業時間の短縮
現地作業（計測）時間の比較： 2時間（本技術） ＜ 10時間（比較技術）
(2) ICT舗装工の面管理による出来形管理における計測データの解析作業時間の短縮
データ解析作業時間の比較： 1時間（本技術） ＜ 6.5時間（比較技術）

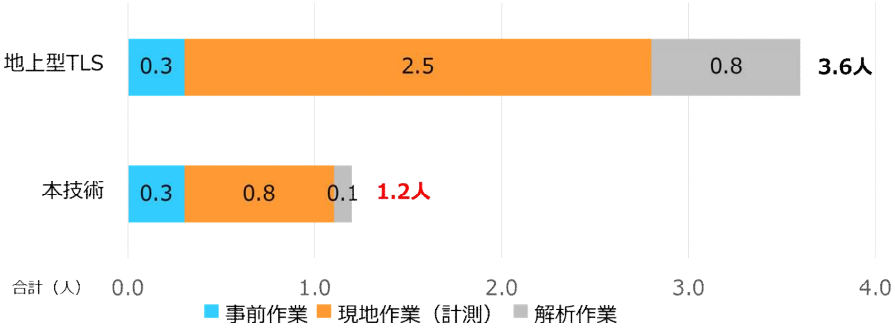


※「H30年度より開始する事項」（ICT導入協議会(第6回)資料3、2018年3月）
ICT舗装工事の起工測量における時間短縮の例（施工面積4,320㎡）をもとに前田道路が作成

本技術により舗装工の中間工程の出来形管理の省力化、効率化が大幅に向上
地上型ﾚｰｻﾞｽｷｬﾅ比 72%減

ICT活用効果：生産性向上『作業人員の縮減効果』

(1)ICT舗装工の面管理による出来形管理における現地作業の人員縮減
現地作業人員の比較： 0.75人（本技術） ＜ 2.5人（比較技術）
(2) ICT舗装工の面管理による出来形管理における計測データの解析作業の人員縮減
解析作業人員の数： 0.125人（本技術） ＜ 0.8人（比較技術）



※「H30年度より開始する事項」（ICT導入協議会(第6回)資料3、2018年3月）
ICT舗装工事の起工測量における時間短縮の例（施工面積4,320㎡）をもとに前田道路が作成

本技術により作業人員の縮減効果が見込める
地上型ﾚｰｻﾞｽｷｬﾅ比 66減%